

「雄志」68号

衆議院議員

谷 田 川
は じ め



立憲民主党千葉県第10区総支部 谷田川はじめ後援会事務所

〒287-0001 千葉県香取市佐原口 2164-2

TEL 0478-54-5678 FAX 0478-52-6991

Mail:info@hajime-yatagawa.com

HP:www.hajime.yatagawa.com



国会事務所

〒100-0014 東京都千代田区永田町2-2-1

衆議院第一議員会館 1208号室

TEL 03-3508-7292 FAX 03-3508-3502

熊谷候補へのご支援 ありがとうございました

熊谷新知事と緊密に連携します

3月21日投開票の千葉県知事選挙に際しましては、熊谷俊人候補に絶大なるご支援を賜り誠に有り難く厚く御礼申し上げます。熊谷候補は、140万票余りを獲得。これは、昭和54年に川上紀一氏が獲得した137万4千票を上回り、千葉県知事選史上最高得票を記録しました。3ページに詳しく載せたように、私の選挙区である千葉10区においても、すべての市町で、関候補にほぼダブルスコアの差で圧勝することができました。

5期20年知事を務めた沼田武氏が、平成12年に引退し、その後何人の新人知事候補の演説を聞いてきましたが、熊谷さんのようにそれぞれの地域課題に熟知し、現実的政策論を語る候補者を見たことがあります。3月11日は、6ヶ所と一緒になつて街頭演説でマイクを握りました。熊谷氏



熊谷氏が県政のトップリーダーに立つことによって、間違いなく劇的な変化が残念ながら、国の出先機関の役割しか果たしてこなかつた感があります。東日本大震災や、昨年の台風15号に対する県の対応は、それを象徴しています。

熊谷氏が県政のトップリーダーに立つことによって、間違いなく劇的な変化がもたらされます。地元市町村と県がしっかりと連携して国に働きかけば、国は動かざるを得ません。このことをしつかり念頭に置き、成田空港問題、農林水産業の振興、人口減少問題等、当地域の政策課題を熊谷知事と力を合わせて解決に導いていく所存です。

皆様のご協力を切にお願い申し上げます。

令和三年四月

谷田川はじめ

栗源では農業振興、佐原では東日本大震災での液状化被害、銚子では銚子連絡道、旭（飯岡地区）では防災強化、横芝光では成田空港の東側で雇用の場をつくるといった具合に、それぞれの地区での優先課題が、彼の頭の中に入っているのです。どうしてこのようなことができたのか？

それは、熊谷氏が3年以上前から、今回の知事

(訂正とお詫び) 前号(67号)の巻頭言で「(千葉県)県土も東京と埼玉を合わせた面積よりも広い」とあるのは、「(千葉県)県土も東京と神奈川を合わせた面積よりも広い」の誤りでした。ここに訂正とともに、心からお詫び申し上げます。

熊谷俊人候補大勝 谷田川はじめが大いに貢献！



JR 成田駅西口 (6:00 ~ 8:00)



JR 成田駅西口 (8:00 ~ 8:20)



道の駅くりもと (10:30 ~ 10:45)



香取市佐原 栗林商事前(11:10~11:25)



銚子市スーパータイヨー前(13:20~13:40)

熊谷新知事が大いに活躍できるよう、皆さんと共にしつかり支えて参ります。

知事選告示後は、国会日程の合間を縫つて選挙活動に加わりました。特に3月11日は、東日本大震災からちょうど10年という節目の日であつたため、国会日程もなく、一日中熊谷候補と行動を共にすることができます。熊谷氏からも、3月11日は千葉県内で最も震災の被害を受けた千葉10区に入りたいとの意向があり、合計で6か所街頭演説を行いました。詳しくは左に示した写真の通りです。

どの会場も予想を上回る聴衆が詰めかけ、熊谷氏に対する期待がいかに大きいかを実感することができました。

千葉県知事選挙（3月4日告示、21日投開票）は、谷田川はじめが全面的に支援した前千葉市長の熊谷俊人候補が、2位の自民党推薦の関候補に百万票以上の大差をつけて圧倒的勝利を収めることができました。谷田川はじめは、熊谷候補が立候補の意思を固めた直後に、いち早く支援を表明。昨年11月29日に東総文化会館で開催された国政報告会に熊谷氏を招き、会場に詰め掛けた約400名の参加者とネットライブ配信の約120名の視聴者に向けて熊谷氏への支援を呼びかけました。

また、年明けからは、熊谷氏との2連ポスターを千枚以上千葉10区内に掲示するなど、熊谷氏の認知度向上に寄与しました。



横芝光町町民会館前 (16:30~17:00)



旭市飯岡 ライオンズ公園前 (15:00~15:30)



当選御礼の挨拶をする熊谷候補 (3月21日)



旭市防災記念館を視察 (14:00~14:30)

今回の千葉県知事選挙は過去最多の8人が立候補。また、12年ぶりに現職の出馬のない新人対決の選挙戦となりました。

前千葉市長の熊谷俊人候補は、2位に大差をつける過去最多の1,409,496票を獲得。初当選を果たしました。今回の選挙で、熊谷氏は全市町村で1位を獲得する完全勝利を達成。全県の得票率は70.5%、千葉県第10区内の得票率は64.0%でした。

投票率は38.99%で、前回の31.18%を大きく上回りました。千葉県第10区内で最も高い投票率は神崎町で50.22%でした。

上位3候補の千葉県第10区における得票

市町	投票率	熊谷俊人 (得票率)	関政幸 (得票率)	金光理恵 (得票率)
銚子市	35.70%	11,084 (62.3%)	5,217 (29.3%)	795 (4.5%)
成田市	38.44%	25,284 (65.4%)	9,555 (24.2%)	2,021 (5.1%)
旭市	38.04%	12,445 (61.7%)	5,898 (29.2%)	762 (3.8%)
匝瑳市	40.36%	7,546 (62.5%)	3,699 (30.6%)	462 (3.8%)
香取市	39.11%	15,642 (63.2%)	6,677 (27.0%)	1,137 (4.6%)
神崎町	50.22%	1,559 (62.1%)	685 (27.3%)	112 (4.5%)
多吉町	48.12%	4,112 (71.1%)	1,154 (20.0%)	258 (4.5%)
東庄町	41.14%	2,823 (59.9%)	1,434 (30.4%)	184 (3.9%)
※横芝光町	44.82%	5,964 (68.3%)	2,120 (24.3%)	341 (3.9%)
千葉県第10区合計	39.23%	86,459 (64.0%)	36,439 (26.8%)	6,072 (4.5%)
千葉県合計	38.99%	1,409,496 (70.5%)	384,723 (19.2%)	122,932 (6.1%)

※千葉10区には旧光町地区だけが帰属しますが、知事選の開票は市町村単位で行われるため、旧横芝町地区の得票も含んでいます。

鳥インフルエンザ、農産物の輸出について質問

2月26日、谷田川はじめが衆議院予算委員会第6分科会で質問に立ち、千葉県で感染が拡大した鳥インフルエンザ問題と、農産物の輸出拡大策について農林水産省の取り組みを質しました。質疑の内容は左記に掲載した通りです。動画は谷田川はじめのホームページよりご覧いただけます。

鳥インフルエンザ対策について

【谷田川はじめ】鳥インフルエンザが地元千葉県の11か所の農場で発生。450万羽が殺処分された。千葉県の卵を産む鶏の4割近くになる。

【野上農林水産大臣】百万羽を超える大規模農場での発生等が続いたことで、現地対策本部を千葉市に設置し、防衛省及び千葉県と防疫作業に関する意見交換等も実施。千葉県と緊密に連携して取り組んで参りたい。

【谷田川】 今回の鳥インフルエンザの発生農家や、餌を納入する業者、鶏を運ぶ運送業者等に、コロナ禍での雇用調整助成金の特例措置を適用すべきと思うが、どうか。

また、鳥インフルエンザの被害を受けた生産者の取引業者にも支援金の支給を検討いただけないか。

意向。現場の声を聞き、関連事業者の影響が緩和されよう、県と連携して対応したい。

〔谷田川〕 一般社団法人千葉県農業協会からの大臣宛の要望書に、雇用調整助成金の特例措置をしてもらいたいと書いてある。最善の努力をお願いしたい。

千葉県の11か所で殺処分が行われたが、未だに埋却する土地が見つからず、終了していないところがある。改善する必要があると思うが、どうか。

【葉梨農林水産副大臣】いすみ市で発生したときに、百十
五万羽と非常に多く、埋却も含めて早期にやるようにと知
事に申し上げ、少し早くなつた。

千葉県には、農水省の現地防疫対策本部を立ち上げ、防疫措置を早くするようになると指導も行っている。特に、埋却地の確保については、事前に準備をすることが大切ということも徹底をさせている。連携を取りながら、早急な防疫措置に努めたい。



生した。
防疫調査チームのいすみの報告書を見ると、ネズミが侵入した足跡があるからその可能性は否定できない。多古の方がいすみの設備より新しく、多古の結果を注目したい。
千葉県農業協会の要望書でも、原因究明をやり、研究予算を確保してもらいたいとある。
人間と動物では違うかもしないが、豚熱の方は、感染しないワクチンが日本で開発できた。ところが、鳥インフルエンザは、感染を防げず、病状を軽くするワクチン、感染しないワクチンを日本で開発する意気込みで、研究開発、
調査をやつて欲しい。

口蹄疫や豚熱、今回の鳥インフルエンザの感染により廃業せざるを得なくなつた生産者の方々が、豚小屋や鳥小屋といった施設を解体した後、環境保全がなされているか確認しているか。

〔農林水産省〕 家畜伝染病の発生後、発生農場の経営再開に向け発生県と協議をしており、経営の再開の状況については把握している。

廃業後の施設の解体状況については、網羅的な調査をしていないが、手当金を解体費用に充てる事例が多いと聞いている。

鳥インフルエンザについては、平成16年から平成30年までの間に廃業された方は7戸。古い鶏舎が残っているので何か手だてはないかといった相談は受けていない。

【谷田川】 ある程度把握しているとしても、全体を把握する調査をしてもらいたい。

補助金は産業を振興するためにつけるというのが一般的な考え方だと聞いた。

【小鍋厚生労働大臣政務官】 今回の新型コロナウイルス感染症における特例措置については、社会全体で営業の自粛等が強く求められ、幅広く労働者の雇用及び生活を守るために講じた措置。従つて、家畜伝染病予防法による殺処分等によつて事業活動を停止、縮小した場合には適用対象外。

臣が、3年間で500億円ぐらいの予算をつけている。今のお金に換算すれば織維業界に1500億円位のお金を投じている。

そう考えた場合、鳥インフルエンザとか豚熱、口蹄疫という一種の天災に遭った人たちが廃業するときに支援金を出して良いと思うが、どうか。

【農林水産省】 廃業された方の畜舎の解体等は、手当金等で解体をするのが原則。この疾病は構造調整ではなく、やめる方への支援は難しい。

従つて、今回の鳥インフルエンザも、早期の手当金、互助基金の支給といった形で、経営再開に万全を期していきたい。

【野上大臣】 殺処分した鳥の所有者に対し、評価額の全額を手当金として交付。早期再建に取り組んでいるところだが、それでも廃業せざるを得ない農場については、当該手当金に使途の限定はなく、鶏舎の解体等の費用に充てることも可能。

農産物の輸出について

【谷田川】 11月にまとめた農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略を読んで、政府のやる気を感じた。

27の重点品目の中で、私の地元香取市にはサツマイモ、しょうゆがある。残念ながら、中国、台湾等の地域に原発事故以来輸出できない。関係国の政府高官に対し、規制撤廃の話を、いつどのような形でを行い、相手方の反応はどうだったか。

【野上大臣】 千葉県産の食品の輸入停止措置を維持している中国や台湾も含め、未だ15の国・地域で規制が残つている。昨年12月に開催されたASEANプラス3農林水産大臣会合で、この規制を維持している中国、韓国、インドネシア、シンガポールに対し、早期の規制撤廃を求めた。引き続き、農林水産物・食品輸出本部の下で、あらゆる

機会を通じ粘り強く働きかけを行いたい。

【谷田川】 なぜ台湾が撤廃しないか、世論が反発するからと新聞記事にあった。それならば、日本政府がテレビCMをやり、台湾世論に直接安全をPRすることも考えていただきたい。

国内市場に依存する農水産業を成長著しい海外へ展開することは重要。今、農村部は人口減少。しかし、輸出がうまくいけば成長産業になり得る。令和3年度の予算、大体百億円と聞いていますが、令和12年度に農産物輸出5兆円を目指すには足りないので。予算を増やすためにも、世論喚起が必要だと思うが、どうか。

【野上大臣】 2030年に5兆円という目標を立てたが、マーケットイン（顧客のニーズを汲み取つて商品開発を行うこと）で輸出に取り組む体制が不可欠ということから、昨年11月に拡大実行戦略を取りまとめ、これに基づき各種施策を推進したい。そのためには、世論の理解醸成が必要。農産物輸出5兆円達成に向け、世論の共感が得られるよう、情報発信に努めて参りたい。

【谷田川】 JAかとりが取り組むサツマイモは、2015年に森田千葉県知事がマレーシアを訪問し、トップセールスを行い、取引がうまくいった。最初は、コンテナで他の野菜と一緒に送つたが、品質が悪くなつた。サツマイモは温度のみならず湿度の管理も必要。試行錯誤しながらやつていい。

国支援は单年度ではなく、継続的に行う必要があると思ふが、どうか。

【農林水産省】 プロダクトアート（生産者の都合を基準に商



品開発を行うこと）からマーケットインに変えることは、海外市場で求められる量や価格、品質、規格に合わせた產品を専門的、継続的に生産し輸出する体制の構築が必要。海外のニーズや規制等に対応した輸出産地の形成が必要になるので、2月16日に輸出産地リストを公表。輸出産地は、輸出促進法に基づく輸出事業計画を必要に応じて作成。計画に基づいて、複数年にわたって、予算上の優遇措置、公庫の融資といった手段で支援したい。

【谷田川】 在外公館に農水省出身者が104名いる。政府を挙げて輸出戦略をやるのであれば、農水省出身者を増強すべきだと思うが、どうか。そして、輸出・国際局が新年度にできるという話だが、人数は大体どのくらいか。

また、日本食のファンを増やすため、世界中の若い人をターゲットにして、輸出国に人気のあるタレントを広告塔にしてジャパン・フェアをやるとか、広告塔の方にSNSを活用してもらうことを考えるべきと思うが、どうか。

【農林水産省】 昨年11月に取りまとめた農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略においては、大使館などの役割強化の方法など国の体制強化について検討し、本年夏を目途に結論を得ることとしている。

引き続き、関係省庁等と連携し、大使館などにおける人員も含めた体制強化策について検討したい。

来年度新設する輸出・国際局（仮称）については、34名の体制を予定している。

【野上大臣】 現在、日本産食材サポートセンター（JFOO）で海外消費者向け戦略的プロモーションを実施。ハリウッド女優のニッキー・リードさんや片付けコンサルタントの近藤麻理恵さんを起用した動画のSNSの配信などを行い、現地の若者に訴求力のある海外の星つきシェフによるオンライン調理セミナー等も実施をしているが、引き続き、海外の消費者に影響力のある方を起用したプロモーションなども通じ、その魅力を伝えたい。

【意味の分からぬ外来語を使うな！】衆院文科委員会で質問

3月10日、谷田川はじめが衆議院文部科学委員会で質問。デジタル教科書使用、外来語の氾濫、教員の待遇改善等について、文部科学省の見解を質しました。主な内容は左記の通りです。
動画は谷田川はじめのホームページよりご覧いただけます。

デジタル教科書導入について

る必要がある。

【谷田川はじめ】 今の日本の教育において、最大の課題の一つは、親の経済格差によつて子供の教育格差を広げてはならないこと。

デジタル教科書用の端末は、サーバーに接続して読む方が前提。自宅学習でかかる費用は各家庭の負担。低所得者家庭に対しては財政的な支援が必要だと思うが、どうか。

【文部科学省】 家庭でのオンライン学習にかかる通信費について、義務教育段階では、要保護児童生徒援助費補助金で、高等学校については、高校生等奨学給付金の枠の中で支援をしており、令和3年度予算案でも、所要の経費を計上している。



【谷田川】 端末は、大体4、5年が寿命。また、子供が乱暴に扱つたりすると壊れる。しかし、更新費用は誰が負担するか、まだ決まっていない。デジタル教育が本格的に導入されると、地方自治体の財政事情によつて教育内容が左右されかねない。義務教育で達成すべき水準は国が責任を持つべきと考えるが、どうか。

【谷田川文部科学大臣】 特に文科省は気をつけていただきたい。国語を守るべき省庁の文書に外来語が多いのはゆき事態。文科省に頑張つてもらわないと、他の省庁の白書で横文字が羅列する。是非大臣のリーダーシップを發揮して欲しいと思うが、どうか。

【秋生田文部科学大臣】 政策のインパクトとして、国民の関心を引くメリットもあると思うが、それが何を言つているか分からないとすれば、注釈を伴うような配慮を、国語を所管する文部科学省として心がけていきたい。

35人学級について

今後のICT端末の更新等に際しての費用負担の在り方は、関係省庁や地方自治体等と協議しながら検討するが、令和3年度として、学校における一人一台のICT活用が当たり前である社会をつくり上げていくことが前提だと考えている。

外来語の使用について

【谷田川】 私の地元は千葉県の北東部で、過疎地が多く、既に35人学級の恩恵を受けているところが多い。過疎地域では既に、指導方法の工夫改善のための加配がなされ、都市部の35人以下学級の教員増に充てられる可能性があり、過疎地域は逆に教員減になつてしまふことが懸念されている。この懸念は払拭されるべきだと思うが、どうか。

【文部科学省】 小学校について、学級編制の標準を5年間かけて35人に引き下げ、必要となる教職員定数の計画的な改善を図ることをお願いしている。個々の学校ごとの教職員配置については、各都道府県、指定都市教育委員会において、それぞれの学校に必要な教職員の配置に引き続き努力していただきたい。

【文部科学省】 健康に関する留意事項については、目と端末の画面との距離、継続して見る時間などに留意し、家庭においても、強い光を発するICT（情報通信技術）機器の睡眠前の利用を控えることが適切であるとしている。

小学校での教科担任制導入について

【谷田川】 去年の11月にも指摘したが、大臣所信に片仮名・横文字が多い。リカレント教育は、「学び直し教育」と言つた方が分かりやすい。スポーツインテグリティーは、「スポーツの高潔性」と言えば伝わりやすいと思うが、どういう見解をお持ちか。

【文部科学省総合教育政策局長】 リカレント教育は、一旦学校を出た上で学び直す、あるいはその機会ということ。文書の使われる性質や、文脈に即して国民に分かりやすく伝えるよう配慮したい。

【スポーツ庁次長】 スポーツインテグリティーという言葉は、スポーツ活動やスポーツ団体の運営における誠実性、健全性、高潔性といった概念を意味する。

【谷田川】 2022年度からの小学校高学年の教科担任制の導入によって、教職員一人当たりの持ちゴマ数は減るということでしょうか。

【文部科学省】 教科担任制の導入は、学級担任の持ちコマ数の軽減、授業準備の効率化等により、学校教育活動の充実や教師の負担軽減に資すると考えている。

免許更新制について

【谷田川】 大臣は、免許更新制に関し、何らかの見直しが必要だということは重ねて言われているが、ほぼ論点は出尽くされたと思う。既に半年以上議論されているので、大臣在任中に一定の結論を出すべきだと思うが、どうか。

【萩生田大臣】 コロナ禍で休校が行われ、それを取り戻すべく、学校現場に様々なスタッフを投入。そこで最も活躍したのがO.B.の教員の皆さん。補習授業等をサポートしていただいた。

教員の皆さんには不斷の研修を続けていかなくてはいけないが、今の制度は、忙しい先生方が、限られた期間の中で、限られた会場、限られた講座で講習を受けなければならぬ。本当に20年目、30年目を迎えた人にふさわしい研修なのかといふのは、首をかしげるものある。免許更新制度の在り方は、足下から見直すべきという持論を持つて、専門家の皆さんにお願いをしている。

従つて、余り力強く方向性や結論めいたことを言うと、何のために検討してもらつていいことになる。私の任期中に結論が出るかどうか分からぬが、目標すべき方向性だけは先生方と共にしている。

教員の待遇改善について

【谷田川】 田中内閣のときに人材確保法ができる、教員の給与を25%アップさせた。

今現在を見ると、教員の負担が非常に重い。去年は給特法を成立させたが、文科省は知恵を出し尽くしたと思う。教員の待遇改善については、給料を上げていく方向性を示すべき。

令和4年度に教員の勤務実態調査を踏まえて検討するよ

うだが、前回勤務実態調査は平成28年。やると決めたのはその年。前倒しで今年やつたらどうか。

【文部科学省】 次回の勤務実態調査については、令和元年度の給特法改正に係る国会審議において、3年後を目途に教育職員の勤務実態調査を行う旨の附帯決議をいただいた。

新型コロナウイルス感染症の状況も鑑みると、令和4年度より前に調査を実施することは現時点では考えていない。次回の調査において、働き方改革の効果が反映された勤務実態を把握できるように検討を進めたい。

【谷田川】 優秀な人材を教育界に導くのに、一番効果があるのは待遇改善、給料を上げることだと思うが、どうか。



英検の受験料返還について

【谷田川】 私の地元の教職員の方から相談があり、自分の学校で英検をやるが、万が一コロナウイルスが感染拡大して実施できない場合には、受験料は返せないと言う。

英語検定協会は、台風や大雪等の天変地異や伝染病の流行等により試験を中止する場合に発生した損害について、検定料の返還を含め、いかなる責も負わないと規約にうたつてゐる。従つて返さなくていいと。この規約 자체が消費者契約法違反だと思うが、消費者庁の見解を。

【谷田川】 私の地元の教職員の方から相談があり、自分の学校で英検をやるが、万が一コロナウイルスが感染拡大して実施できない場合には、受験料は返せないと言う。

【厚生労働省】 大学において卒業が認められなかつた方は、薬剤師法に規定する卒業した者には該当しないことから、受験を認めていない。しかし、議員のご指摘を踏まえて、薬剤師国家試験のよりよい運営の在り方について、大学等の関係者の方々とも協議を行い、検討したい。

【消費者庁】 消費者契約法第8条第1項第1号は、事業者の債務不履行により消費者に生じた損害を賠償する責任の全部を免除する消費者契約の条項を無効とするもの。

一般論としては、試験の中止が事業者の責めに帰するところがでける場合等であつてもいかなる責任も負わないという内容の契約条項であれば、消費者契約法第8条第1項第1号に該当する可能性がある。

【文部科学省】 民間検定試験については、主催者の判断の下で実施されるもので、検定料の取扱いについても同様。実用英語検定協会の検定料の取扱いの適法性については、文科省として判断するものではなく、検定協会において、法令の趣旨に基づき適切に対応していただける。

【谷田川】 そのような消極的な答弁ではだめだ。消費者庁が問題点を指摘したのだから、これは大きな事実だ。

薬剤師試験受験について

【谷田川】 医師や薬剤師の国家試験について、その年の3月に卒業できるか分からぬ学生が、受験料を添えて申し込む。医師の国家試験の場合は、卒業できないと分かつても体験受験ができる。ところが、薬剤師の方は、受験料を払っているにもかかわらず受験できず、受験料も返されない。

医師の国家試験が体験受験を認めているのに、何で薬剤師は認めないのか。体験受験ができるのであれば、少なくとも受験料は返すべきだと思うが、どうか。

ポスター掲示 ご協力のお願い

衆議院議員の任期満了日は2021年10月21日です。任期満了6ヶ月前から、公職選挙法の規定で議員個人のポスターが掲示できなくなります。そのため、新たに熊谷知事とのA1版二連ポスターを作成しました。谷田川はじめの認知度を一層高めるために、是非、ご自宅の壁や塀等に貼らせて頂きたくご協力をお願ひいたします。



○後援会ニュース「雄志」 定期購読会員募集

谷田川はじめと支援者を結ぶ機関紙「雄志」を年4回発行しています。あなたのご意見を反映します。

年会費一口2,000円（何口でも可）

購読料のお振込先

郵便振替口座 00110-9-390288 「谷田川元後援会」

谷田川はじめプロフィール

1963年1月17日香取市生まれ

千葉県立佐原高校、早稲田大学政治経済学部卒業

千葉県議会議員4期、衆議院議員2期、松下政経塾出身

現在、立憲民主党政務調査会副会長

文部科学委員会、決算行政監視委員会、憲法審査会に所属
立憲民主党千葉県連副代表、千葉県ハンドボール協会会长

冠婚葬祭等の情報がありましたら、
谷田川事務所までご連絡下さい。

メッセージの手配をさせて頂くとともに、日程調整が
つけば、谷田川はじめが顔を出させて頂きます。

国会見学のお知らせ

国会見学は検温、マスクの着用を条件に認められています。もしも国会見学を希望される方は国会事務所までお問い合わせ下さい。

見学にかかる時間は、1時間程度です。現在は新型コロナウイルス対策で、人数が制限されておりますので、ご希望の方は、早めに国会事務所まで、ご連絡頂ければ幸いです。



<お問合せ先> 国会事務所
電話 03-3508-7292 担当:森

千葉県第10区在住のお知り合いの方を是非ご紹介下さい。



ご連絡お待ちしています

**TEL 0478-54-5678
FAX 0478-52-6991**